

かわら版

第3号



石川和久（40歳）
山武市議会議員
35歳で初当選、現在2期目

上横地1020-3
0475-51-4803
ishikazu.sammu@gmail.com
HP: ishi-kazu.com

皆さん、こんにちは。

突然ですが、皆さんが投票した議員の方は議員活動していますか？

平成31年4月21日に執行された山武市議会議員選挙、早いもので一年が過ぎましたが皆さんが投票した議員の方は、その後しっかりと議員活動していますか？

何を議員活動とするかは幅広いですが、皆さんがしっかりと仕事をしていると感じることができればいいと思います。しかし、実際は何をしているか知らない。議員として何を考えられているか分からない。当選したはいいけど何もしていない。そのように我々、議員に感じられている方は多いのではないかと思います。

皆さんにお願いです。ぜひ、投票した議員がどんな議員活動をしているかチェックしてください。市議会議員一人あたり年間500万円以上もの報酬が支払われています。残りの任期はまだ2年半あります。議員一人一人が資質向上を図り、市民の代表という自覚を持ち市民に寄り添った議会になることを切に願います。私としても、市政報告紙TIMES・かわら版を通じて、皆さんに伝える政治活動、議員として資質向上を図り、政策立案できる議員を目指して尽力して参ります。

さて、ここで本題ですが、平成31年の山武市議会議員選挙の投票率についてまとめてみました。全体の投票率は55.60%、7年の投票率54.81%とわずかに上回る結果となりました。29名の立候補者という激戦の選挙となった訳ですが、投票率の伸びは今一つという結果です。大きく言うと、どんなに立候補者がいても投票に行く人は同じ人という事ではないか。今回の選挙では18歳からの選挙権が導入され、初めての市議会議員選挙です。10代の投票率は41.30%、20代の33.95%、を大きく上回る結果となりました。その背景には2015年から進んだ学校での主権者教育などが考えられます。

しかしながら、右の表を見ると、若い世代での投票率が低いことが分かります。そこで選挙に行かない20代の方に聞くと、「政治に関心がない」「どの候補を選べばいいのか分からない」「たかが一票じゃ何も影響はない」などの理由が挙げられました。

私が皆さんに伝えたいことは、毎回、同じ人が投票に行けば当たり前のように同じ人が当選する。それでは何も変わらない。60代と同じかそれ以上に20代と30代の投票率が上がったらどうなるだろう。今まで若い人に見向きもなかった政治家たちが、急に自分たちの運命を決める大事な有権者となる。当然若い人に応援される為に、若い人に向けた政策をアピールするようになる。投票に行くだけで若い人が住みやすいまちになる可能性が高いのです。

選挙に行かない方は、今は選べる政治家がいなくてもいいかもしれません。それでも選挙に行きましょう。

市議会議員選挙投票率

年代	投票率
10代	41.30%
20代	33.95%
30代	41.36%
40代	48.89%
50代	57.13%
60代	68.03%
70代	71.02%
80代以上	49.84%
合計	55.60%

どうでもいい話

ツイッターで山武市と検索すると稀に武市瑞山が検索される事がある。武市瑞山は通称、武市半平太。土佐勤王党、盟主。